



Chartered on 7th July 1984

The Service Club of the YMCA
The Y's Men's Club of WAKAYAMA-KINOKAWA

和歌山紀の川クラブ2023年 4月 No. 468

Club Office:Wakayama YMCA 1-12-13 Oota Wakayama
http://kinokawa.ninja-web.net/

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

クラブ会長 向井貞隆： 主題「私の、貴方の、人々の笑顔の為に!!」 // 国際会長 ウルリック・ラウリドセン氏（デンマーク）：主題「輝かそう、あなたの光を」 スローガン「良いコミュニケーションは、すべての協力関係の基礎である」 // アジア太平洋地域会長 Chen Ming Chen（台湾）：主題「新しい時代とともに、エレガントに変化を」 スローガン「今すぐ実行を」 // 西日本区理事 田上正：主題「原点を知り将来に生かす」 スローガン「立ち上がれ ワイズモットーと共に」 // 阪和部長 正野忠之：部長標語「10年後の阪和部へ。つなげる。～経験を生かし、目線を活かす～」

2022年度

西日本区次期会長・主査研修会に出席して

次期会長 永井 康雅



3月11日・12日大阪コロナホテルにて開催されました。参加者数は約100名。今年にはワイズ100年記念大会が台湾で同時期に行われていたためでしょうか。また ZOOM 参加者もあり、参加者数が少ないように思いました。

開講式に続き次期役員を紹介。馴染みの顔のお三人。深谷 聡次期理事、川口 恵次期地域奉仕・環境事業主任、平野 実郎次期理事事務局局長の名古屋クラブのメンバー。

次に深谷次期理事による活動方針の表明

主題：未来に灯そう 希望の光 副題：互いに認めあおう 世界の友と
メンバー減少が現実であり、「私達の活動を支える為にも新しい会員の確保が求められます。」「良い事は変革を、自信を持って推進しよう。」と述べられました。その後、台湾での国際の各エリアの次期理事が集合して次期理事研修会への出席のため早々に退席されました。

次期事業主任では吉田Yサ・ユース主任は「貴方のタレントを生かしてください」と。川口地域奉仕・環境主任は「アンケートを実施します」「広報活動を積極的に」と。大森EMC主任は「クラブの一体感ある流動性＝利発的な変化を楽しもう」と。牧野国際・交流主任は「ワイズメンズ育成に向けてSTEP/iGOへの参加を呼びかけ」「IBC/DBC 新規締結を」と述べられました。

西日本区の現状 田上理事

メンバーの高齢化、退会者の増加によるメンバー数の減少が現実。財政の逼迫。EMC はワイズ存続の喫緊の課題で、キーワードは「声掛け」です。会長の責務 益国 隆人(広島)

特に気づかされた内容

- ① イベント・活動の実施では準備期間を大切に
- ② クラブ全体の活動に対して責任を持つこと。
- ③ メンバーの貴重な1年間を預かる自覚を
- ④ 責任は信頼

2 日目の内容については数回受けた研修会との内容と大きな違いはありませんでした。今回の研修会では部長を交えた主査・会長の話し合い、交流の場がありませんでした。

研修会を準備していただいたLD委員の皆様の動きに感謝です。

会長：向井 貞隆

会計：西岡 弘

書記：土肥 正明

聖句

何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある。

コヘレトの言葉3章1節

永井由紀子 撰



4月例会プログラム

RBM

日時：4月1日(土)
18:30~20:30

場所：YMCA 6F

司会：志波・芝本

受付：金城・坂本

プログラム

食前感謝 加志

BF担当 生駒・山本

開会点鐘 向井会長

ワイズソング 一同

ゲスト・ビジター紹介 向井会長

ゲストスピーチ

「和歌山の民話」

講師：林多恵子様

乙井八重子様

坂口和枝様

会長報告 向井会長

諸報告・アピール等 関係者

YMCA 報告 藤田担当主事

ハッピーアワー 山本メネット

BFアワーの報告 田中

YMCAの歌 一同

閉会点鐘 向井会長

| | 在席 | 出席 | メネット | ゲスト | ビジター | その他 |
|-------|----|---------|---------|-----|------|-----|
| 3月 | 18 | 12 | 3 | 5 | 1 | 1 |
| | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 | 名 |
| 議決秘密 | | | | | | |
| 出席率 | | BF | ニコニコ献金 | | | |
| 76.5% | 3月 | 1,800円 | 4,281円 | | | |
| | 累計 | 27,700円 | 38,208円 | | | |

3月 例会報告

日時：2023年3月4日（土）
18：30～20:25

場所：和歌山 YMCA 会館 6階ホール

出席：21名 ゲスト5名：西徹様（ゲストスピーカー）・節子様（奥様）、為沢友月様（ぴかリーダー）、石井翔也様（ショーンリーダー）
武田昇真様（ゼブラリーダー）、ピジター1名：正野忠之様（阪和部長） メン12名：生駒、大谷、加志、金城、坂本、芝本、土肥、永井、藤田、真弓、向井、山口 メネット3名：小久保、永井、野崎

1. ゲストスピーチ（はっぴー会会長 西徹様）



西徹様は、月2回 はっぴー体操教室の講師を務めておられ、この教室に参加している永井メネット会長がお招きしました。

定年を迎えてからの健康管理が特に大切。何もしなければ体力が落ちていく。適した運動をすることで、体力がなるべく落ちないようにしていける。とりわけ、足の筋肉を鍛えるとよい。体の調子がよければ食べ物が美味しく、外出して人と交流するなど楽しみが広がるということです。はっぴー体操を、時間の許す限りご指導いただきました。普段体を動かす習慣のない人は言うに及ばず、生活に体操を取り入れることが、長寿社会を元気に生きる一助になるものと思います。

2. 会長報告

- (1) 西日本区大会（熊本）に参加する人は、各自登録と宿泊の手続きを行なう。
- (2) これまで協議してきた新入会員の会費運用（案）について採決。承認された。
- (3) 東日本大震災12年、追悼礼拝と感謝の会（石巻広域クラブ、Zoom）のご案内

3. 正野阪和部長

この度、台湾の沈智明（チャーミング）氏〔現アジア太平洋地域会長〕が、2023/24年度国際会長エレクトに選出された。

4. YMCA報告

トルコ・シリア大地震緊急支援募金について、ロビーに掲示。協力して下さい。

5. ニコニコ献金 4,281円、BF 献金 1,800円。

3月 言々皆報告

日時：2023年3月10日（金）
18:30～19:20

場所：和歌山 YMCA 3F 会議室

出席：メン10名：大谷、金城、坂本、土肥、永井、西岡、藤田、真弓、向井、山端

1. 4月例会プログラムについて

マスクを着用するかどうかは個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断に委ねる。

ゲストスピーチ：

林多恵子様と言の葉グループのお仲間
卓話『和歌山の民話』

2. 八朔販売事業の会計報告

70箱販売、収益 22,169円

3. 会長報告

- (1) 次期会長・主査研修会（3/11・12）大阪コロナホテル、永井、坂本が出席予定。
- (2) クリスチャニティーアンケートの内容を協議。回答を部クリスチャニティー委員へ送る。
- (3) 東日本大震災から12年、追悼礼拝と感謝の会（3/11）にZoomで、向井、土肥が参加予定。
- (4) 西日本区大会（熊本）に、現時点で9名登録予定。
- (5) 和歌山城ホール屋上で花見
4月4日（火）11:00集合 **〔3/15に決定〕**

4. 西日本区への各種献金の送金について

送金は3/15まで。既に協議済の内容で送金する。クラブ員の対象人数は1月1日を基準に18名。5,000円は個人負担、不足分はクラブファンドから充てる。

5. YMCA 報告

- (1) リーダー感謝祭（3/19 13:30～）
6名出席予定。
- (2) チャリティーラン
5月14日（日）、協賛に要協力。

2022年度リーダー感謝祭

坂本 智



3月19日（日）、リーダー感謝祭に参加しました。今年はピカ、ボン、パン3名のリーダーの卒業をお祝いするために、現リーダー、スタッフ、ワイズメンに加えてOB・OGの社会人リーダー、遠くは埼玉、城崎からも、この日のために駆けつけてくれ、心温まる感謝祭となりました。

ました。

会の始めから終わりまで、たくさんの涙と明るい笑顔を見ながら、送る側のリーダーや、小川スタッフと3人の卒Yリーダーたちが4年間、たくさんのプログラムに真剣に取り組んできたことが伝わり、彼らの強い絆を感じました。毎年のことながら、私たちも胸が一杯になり、ワイズとしてもっと支えなければと思いながら、この会に立ち合わせていただきました。

「私の!!」

山口 善平

私の家は商売をしていたので、両親よりも祖父と過ごす時間の方が長かった。つまり「おじいちゃん子」ですね。

祖父は明治の人間で、とてもとても物を大事にした。壊れた物はくっつけ、継ぎ足し、削り、巻き付ける等々。不恰好だけれど使える様に修理し、大事に使った。

その祖父がおやつ代わりによく作ってくれたのが「はったい粉」である。見た目はあまり良くないが、砂糖を入れるとおいしく食べられるし、お腹もふくれるので子供にとっては良いおやつだった。「くず」もよく作ってもらった。手鍋に角ばったくず粉を入れ、火にかけて少しづつ湯で溶いて伸ばしてゆく。子供心に「はったい粉」より上等な気がして好きだった。

その時の手鍋は未だ現役なのでもうかれこれ60年以上使っている計算になる。持ち手が割れているが針金で持ち手を固定している。多分祖父が直したんだろう。もういい加減買い替えたいけれど、今時の手鍋は結構高級で厚みがあり重いばかり。こんなに薄くて安っぽい手軽な手鍋は今時はやらないのか荒物屋に行っても見当たらない。どなたかご存知ではありませんか？



ワイズ創立100周年の歩み (9)

西日本区スタート

2011~12年度 (90クラブ 1678名)

浅岡徹夫理事

- ・事業主任制度の見直し：7つの事業を5つの事業と1つの委員会に変更し、実施は2014年度より。
- ・国際・交流事業の新設：東日本大震災での被災者支援・復興支援活動を活発に行う。

2012~13年度 (87クラブ 1634名)

成瀬晃三理事：東日本大震災への活発な支援活動を実施。任期後半、マレーシアでのアジアミッドイヤーミーティングより帰国した翌日2013年2月25日に急逝。神様の御許に逝かれました。温厚で思慮深いワイズメンでした。

2013~14年度 (87クラブ 1604名)

高瀬稔彦理事：成瀬理事の急逝後、1年4ヶ月の理事就任。クリスチャニティー特別委員会を常置委員会に。

2014~15年度 (85クラブ 1577名)

松本武彦理事

- ・事業委員会の再編スタート：YMCA サービス・ユース事業、地域奉仕・環境事業 EMC事業、国際・交流事業、メネット事業
- ・「西日本区2000推進チーム」の活動を閉じる。

2015~16年度 (85クラブ 1530名)

遠藤通寛理事：2015年7月、京都にて第26回アジア地域大会開催。

2016~17年度 (83クラブ 1494名)

岩本悟理事：2017年2月第2回東西日本区交流会を東山荘で開催。「財政問題等特別委員会」「ワイズ将来構想特別委員会」の設置。

2017~18年度 (85クラブ 1536名)

大野勉理事：2018年8月、西日本区事務所を大阪地下鉄御堂筋線「西中島南方駅」近くに移転。

2018~19年度 (85クラブ 1464名)

遠藤通寛理事：「西日本区新生ワイズ起こし運動」の開始。「ロールバックマラリア」活動の認識拡大を。

2019~20年度 (80クラブ 1439名)

戸所岩雄理事：「新型コロナウイルス感染症」拡大により西日本区大会中止。次期役員研修会・役員会などやむなく中止せざるを得なかった。

2020~21年度 (80クラブ 1411名)

古田裕和理事：コロナ禍の影響により「西日本区前期区費」の免除。

2021~22年度 (80クラブ 1367名)

新山兼司理事：沖縄県を東西日本区両区のエリアにすることを決定。西日本区25周年となる年度となり、1997年西日本区としてスタートした岡山にて西日本区大会を開催。

2022~23年度 (74クラブ 1297名)

田上正理事：メネット事業を委員会に変更し活動することにする。ワイズ創立100周年記念会が台湾 台北市で開催。



リーダーからの発信



‘シヨーンリーダー’こと
石井 翔也

こんにちは。今年度よりリーダー会会長を務めさせていただくことになりました。シヨーンリーダーこと石井翔也です。よろしくお願いします。

リーダー会をまとめる会長に就任させていただいて、まだまだ未熟な部分も

あり、不安が沢山ありますが、自信を持って堂々と活動していきたいと思っています。

これから会長として様々な活動に参加するにあたって「全力で楽しむ」ことをモットーに、リーダーのみならず子どもたちも笑顔にできる、そんなリーダー会を副会長であるベコリーダーと共に作っていききたいと思っています。

この3月からマスク着用が原則不要となり、少しずつではありますがコロナを気にせずに活動ができるようになってきています。年々リーダーの数が減ってきてはいますが、例会やキャンプにて共に活動し、共に成長し合える仲間がいることに幸せを感じています。

今年度もスタッフや仲間と共に、みんなで力を合わせひとつになって、リーダー活動を頑張りたいと思います。

4月 YMCA 行事予定

(ウェルネス)

特になし

(ランゲージ)

3/25~4/4

ロスアンジェルスホームステイ

(シード)

4/8、22 サタデークラブ

(介護福祉科)

4/5 入学式

4/15、22 オープンキャンパス

(日本語科)

4/5 入学式

(学院高校)

4/7 入学式

(その他)

4/18 クリーンキャンペーン

4月フェイスカレンダー

| | |
|--------|-------------|
| 1日(土) | 例会 |
| 4日(火) | 花見 /和歌山城ホール |
| 14日(金) | 言々皆 |
| 20日(木) | 和歌山クラブ例会 |



「私の人生アーカイヴ」

永井 康雅

私の両親は歯科医師で大阪市にて開業をしていた。父親の義兄より満州国撫順市にて歯科医院を開業しないかと誘われたそうです。順調な、贅沢な生活をしていたらしいですが戦況が悪くなり、撫順で終戦を迎え、父親は出征しており、母親と子供4人とお手伝いさん1人とで引き揚げてきました。私は手をつないでもらって和歌山に着きましたが、私自身には実感はありません。撫順での豊かな生活から戦後の厳しい、苦しい生活への始まりが待っていました。母や姉に手をつないでもらった移動は3歳児にとっては大変だったことが想像できます。道中で私の手と母や姉との手が離れてしまっていたらと考えたくはありませんが、戦争孤児のニュースがあった時代には母と姉への想いで涙がとまりませんでした。

編集後記

桜も満開で、心穏やかな季節となってきましたね。桜の花はすぐ散ってしまいますが、新しい梢を出し、木は何十年も生き続けます。特に大木になると何百年ともなります。それに引き換え、人の一生は短いものですね。人生80年間を時間に換算すれば≒70万時間、睡眠時間を平均8時間とすれば80年間で有効な時間は≒47万時間しかありません。この時間は後戻りができません。1日1日を充実した生き方をすることは大切ですよね。

一度、木に耳をそっと当て、こずえが芽生える声を聞いてみてください。何かを語ってくれるかも。
(生駒 記)